

ストーブによる住宅火災が毎年発生しています ～石油ストーブは給油時に、電気ストーブはつけっぱなしにご注意ください～

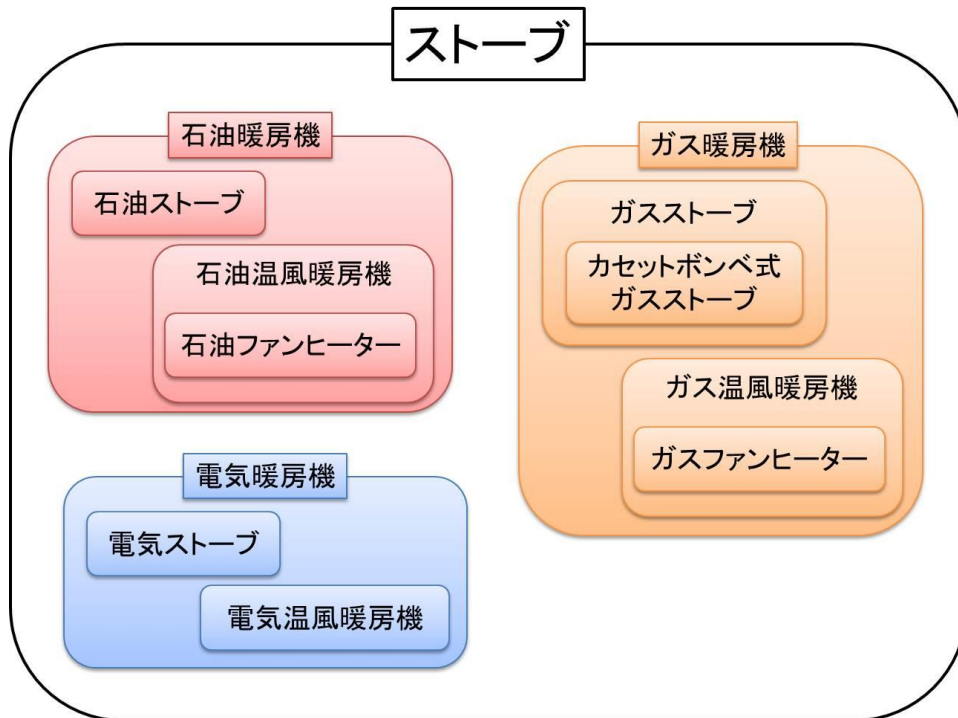
今年も石油ストーブや電気ストーブなどが活躍する季節になりましたが、例年、11月頃からストーブによる火災事故が増加し、12月、1月と月を追うごとに増えていきます。誤使用や不注意によって、住宅を全焼したり、死亡に至ったりする事故が多く発生していますので、今一度正しい使用方法を確認し、事故を未然に防ぎましょう。

NITE（ナイト）が収集したストーブ^{*1}による製品事故件数^{*2}は、平成23年度～平成27年度までの5年間に合計975件^{*3}（石油ストーブ305件、石油ファンヒーター142件、ガスストーブ40件、電気ストーブ446件など）ありました。このうち火災を伴うものが646件（66%）あり、火災やCO中毒によって死亡85件、重傷23件、軽傷118件などの被害が発生しています。特に60歳代以上の高齢者による死亡事故は全体の約7割を占めているため、注意が必要です。

■ 主な事故事例と注意事項

- 使用者がカートリッジタンクを石油ストーブに戻す際、タンクのふたを十分にしめていなかったため灯油がこぼれ、その後拭き取りが不十分な状態で点火したことでこぼれた灯油に引火し、住宅1棟を全焼し、隣接する建物8棟を焼損して、1人が死亡、1人が重傷を負った。
（平成28年2月、大分県、70歳代男性・死亡、60歳代女性・重傷）
⇒給油後は、カートリッジタンクのふたが確実に閉まっていること、灯油がタンクから漏れていないことを確認してください。
- 石油ファンヒーターに誤ってガソリンを給油したため、大きな炎が上がって、住宅を全焼し、1人が死亡、1人が重傷を負った。
（平成28年3月、北海道、60歳代男性・死亡、60歳代女性・重傷）
⇒灯油と間違えてガソリンや混合油^{*4}を誤給油しないでください。少量の混入であっても火災が生じるおそれがあります。灯油と間違えないように、ガソリンや混合油は消防法令に適した金属製のガソリン携行缶を使用してください。
- カセットボンベ式ガスストーブのボンベ交換時に、ボンベが正しく装着されずガスが漏れていたため、点火時に炎が上がり衣服に着火して、1人が軽傷を負った。
（平成27年3月、大阪府、年齢不明 男性・軽傷）
⇒ボンベ装着時に、ガス臭がしたり、ガス漏れの音（シューという音）が聞こえたりした際は使用を中止して、ボンベの切り込み部がストーブのボンベ受けガイドにきちんとはまっているか確認し、しばらく時間をおいてから点火してください。
- 外出中に、電気ストーブの上に衣類を干していたところ、衣類が落下してヒーター部に被さり、着火して周辺を焼損した。（平成27年12月、福岡県、拡大被害）
⇒電気ストーブや石油ストーブの周囲に衣類を干さないでください。また、外出時や就寝時には必ずスイッチを切ってください。衣類や寝具などの可燃物がストーブに接触したり、放射熱によって過熱されたりすることで着火し、火災が発生するおそれがあります。

- (※1) 石油やガス、電気を使うストーブ全てを対象とする。また温風暖房機も併せて対象とし、開放型のファンヒーターや強制給排気方式（FF式）の温風暖房機を含む。（下図参照）



(図) 本資料におけるストーブの定義

- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。
- (※3) 平成28年11月1日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※4) 「油」という言葉がつくが、成分はほぼガソリンである。草刈機やチェーンソー、農業用器具などの燃料として使われ、エンジンが焼き付かないようガソリンと潤滑用オイルを25：1や50：1の比率で混合している。また、混合ガソリンとも呼ばれている。

1. 事故の発生状況

NITEが収集した製品事故情報のうち、平成23年度から平成27年度に発生したストーブによる事故975件について、事故の発生状況を次の(1)～(6)に示します。

(1) 製品の種別別 年度別 事故件数

図1に「製品の種別別 年度別 事故件数」を示します。

石油暖房機（石油ストーブや石油温風暖房機）や電気暖房機（電気ストーブや電気温風暖房機）の事故件数は平成26年度まで減少傾向にありましたが、平成27年度はともに増加しています。また、ガス暖房機（ガスストーブやガス温風暖房機、カセットボンベ式ガスストーブ）の件数は、年間10件前後ですが、毎年同程度発生しています。

ストーブによる事故は火災を伴う場合が多く、毎年100件以上の火災が発生しています。

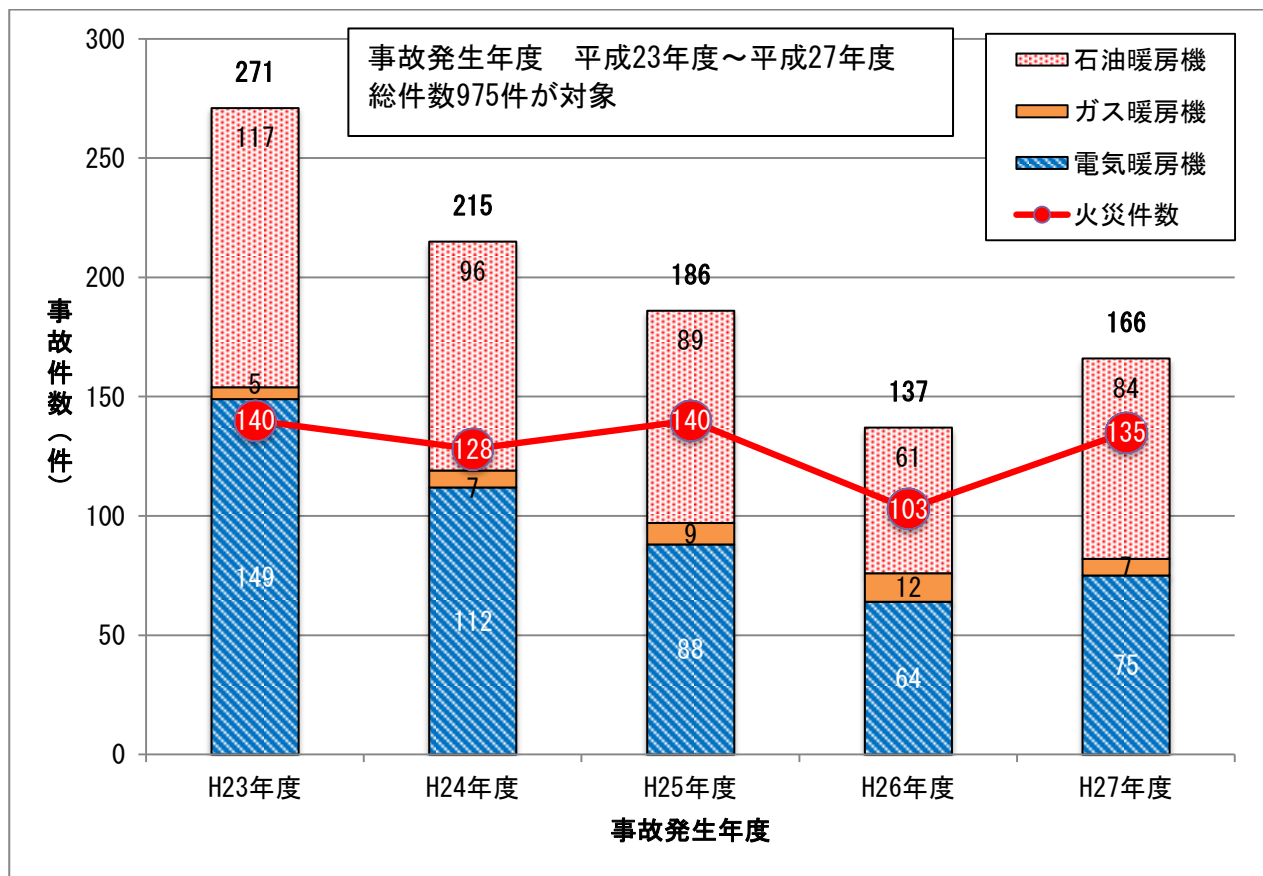


図1 製品の種別別 年度別 事故件数

(2) 製品の種類別 月別 事故件数

図2に「製品の種類別 月別 事故件数」を示します。

石油・ガス・電気暖房機全てにおいて、11月頃から事故件数が増加し、1月頃に最も多くなっています。また、火災件数も同様の傾向を示しています。

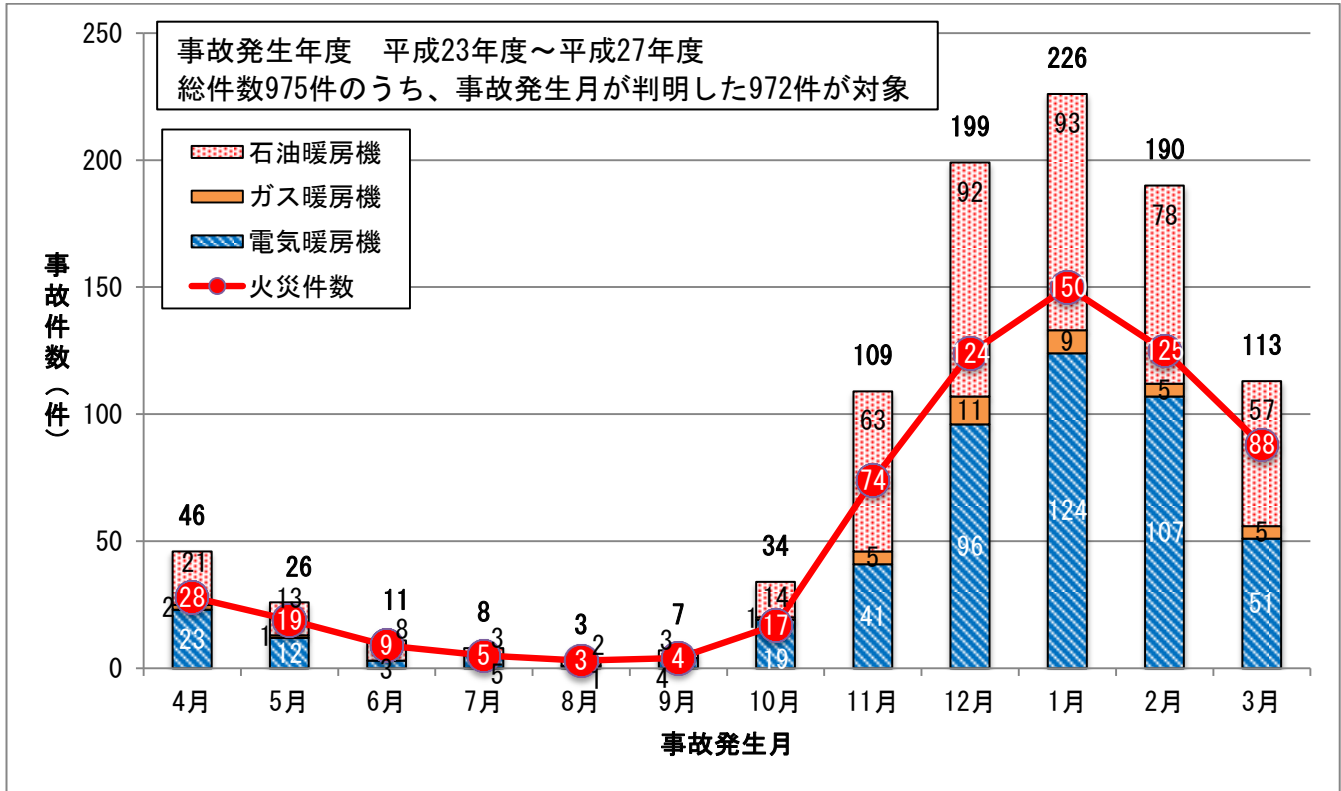


図2 製品の種類別 月別 事故件数

(3) 製品別 被害状況別 事故件数

表1に「製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

事故件数をみると、電気ストーブが最も多く446件あり、続いて石油ストーブが305件、石油温風暖房機が142件となっています。

火災の発生件数と被害状況をみると、石油ストーブによる火災が278件、被害者数166人（死亡56人、重傷22人、軽傷88人）と最も多く、続いて、電気ストーブによる火災が218件、被害者数73人（死亡23人、重傷4人、軽傷46人）となっています。

ストーブによる事故では大きな火災を伴うことが多く、人的被害が発生する事故226件に対し被害者が316人にのぼっており、1件当たりの被害者が1.4人と複数の被害者が出る傾向にあります。

表1 製品別 被害状況別 事故件数^{※5}

製品の種類		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
石油暖房機	石油ストーブ		49 (56) [48]	16 (22) [13]	48 (88) [44]	137 [133]	48 [39]	7 [1]	305 (166) [278]
	石油温風暖房機		11 (13) [11]	2 (3) [2]	29 (43) [21]	63 [55]	25 [14]	12	142 (59) [103]
	小計	事故件数	60	18	77	200	73	19	447
		被害者数 火災件数	(69) [59]	(25) [15]	(131) [65]	[188]	[53]	[1]	(225) [381]
ガス暖房機	ガスストーブ		2 (2) [1]		1 (3) [1]	4 [2]	2		9 (5) [4]
	ガス温風暖房機		1 (1) [1]	1 (1) [1]	4 (5) [3]	7 [5]	3	1	17 (7) [10]
	カセットボンベ式ガスストーブ			1 (1)	3 (3) [2]	7 [6]	1	2	14 (4) [8]
	小計	事故件数	3	2	8	18	6	3	40
被害者数 火災件数		(3) [2]	(2) [1]	(11) [6]	[13]	[0]	[0]	(16) [22]	
電気暖房機	電気ストーブ		22 (23) [22]	3 (4) [1]	31 (46) [21]	173 [133]	215 [41]	2	446 (73) [218]
	電気温風暖房機				2 (2) [1]	16 [11]	23 [13]	1	42 (2) [25]
	小計	事故件数	22	3	33	189	238	3	488
		被害者数 火災件数	(23) [22]	(4) [1]	(48) [22]	[144]	[54]	[0]	(75) [243]
合計		85 (95) [83]	23 (31) [17]	118 (190) [93]	407 [345]	317 [107]	25 [1]	975 (316) [646]	

(※5) 平成28年11月1日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(4) 年代別 死亡・重傷者数

図3に「年代別 死亡・重傷者数」を示します。

60歳代以上の高齢者において、死亡・重傷事故件数が大幅に増加するとともに、年代が上がるにつれ、死亡者数が増加しています。死亡事故は85件発生しており、そのうち60歳代以上の高齢者の事故が約7割（61件）を占め、死亡者数は60歳代16人、70歳代25人、80歳以上28人となっています。また、子どもが巻き込まれ死亡する事故も発生しており、注意が必要です。

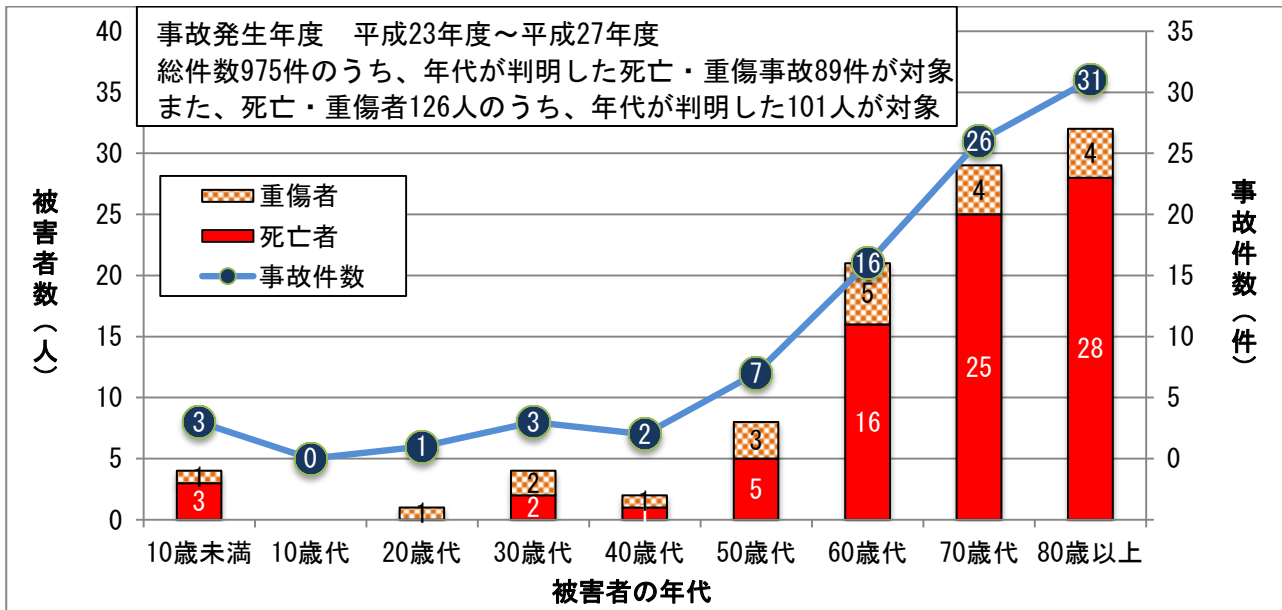


図3 年代別 死亡・重傷者数

(5) 製品の種別別 使用期間別 事故件数

図4に「製品の種別別 使用期間別 事故件数」を示します。

石油暖房機は使用期間に関係なく、年間10件から30件程度の事故が発生しており。電気暖房機は、使用期間1年未満の事故が多く発生しているものの、それ以降は使用期間に関係なく事故が発生しています。

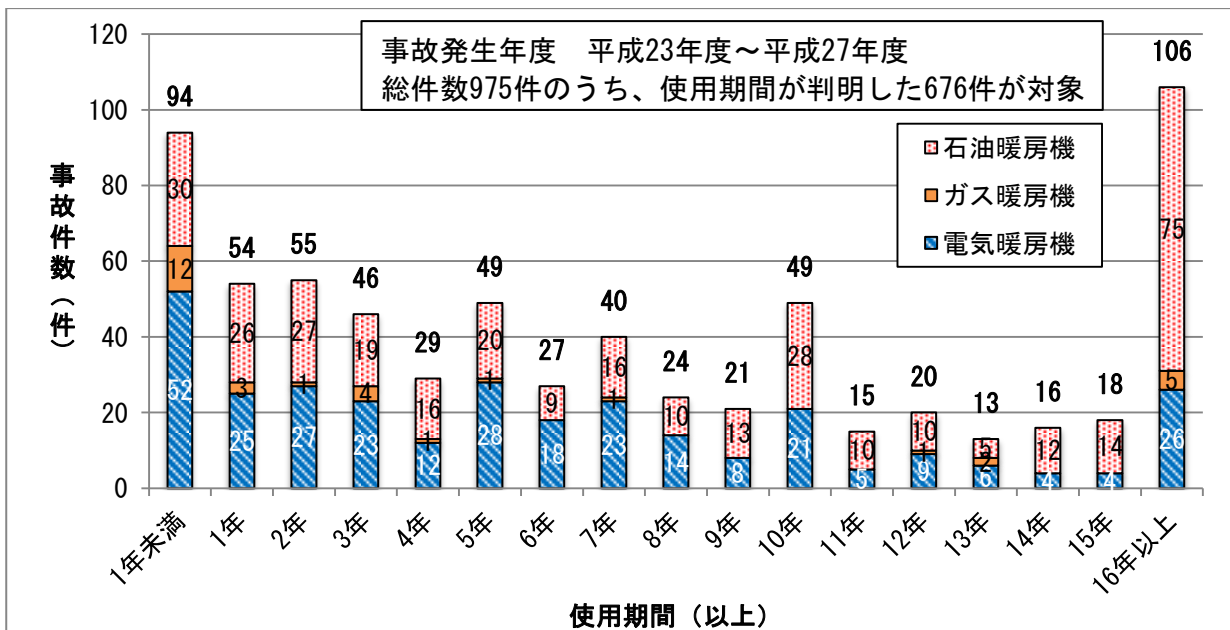


図4 製品の種別別 使用期間別 事故件数

(6) 製品の種別別 事故原因区分別 事故件数及び被害状況

それぞれの製品毎に原因区分別の事故件数をみると、石油暖房機やガス暖房機では誤使用や不注意等による事故が多く、電気暖房機では製品に不具合のあった事故が多いという傾向がみられます。以下では、石油暖房機・ガス暖房機の事故と電気暖房機の事故を分けて、事故原因区分別に事故件数や被害状況をみていきます。

① 石油暖房機・ガス暖房機の事故

図 5-1 に「石油暖房機・ガス暖房機の事故原因区分別 事故件数」及び表 2-1 に「石油暖房機・ガス暖房機の事故原因区分別 被害状況」を示します。

事故原因区分（別紙 1 参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 39 件（8%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 258 件（53%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 136 件（28%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 54 件（11%）

となっています。

石油暖房機やガス暖房機の事故では、「E: 誤使用や不注意によるもの」が 133 件(27%)、「F: その他製品に起因しないもの」が 122 件 (25%) と、「製品に起因しない事故」が全体の中で大きな割合を占めています。

石油暖房機的主要な事故としては、

- カートリッジタンクのふたを十分に締めていなかったなどで、灯油が漏れて発火した火災が 37 件（6 人死亡、4 人重傷）
 - ガソリンを誤給油したために異常燃焼した火災が 21 件（3 人死亡、3 人重傷）
- といったものがあり、ガス暖房機では、
- ガス接続具（P. 14 参照）の接続が不十分だった、専用接続器具を使用しなかった等で、ガス接続口からガスが漏れて引火した火災が 5 件（1 人重傷）
- といったものがあります。

「G: 原因不明のもの」が 136 件（28%）と多いのは、石油暖房機やガス暖房機では大きな火災を伴う事故が多く、製品の焼損が著しく原因の特定が困難なためです。

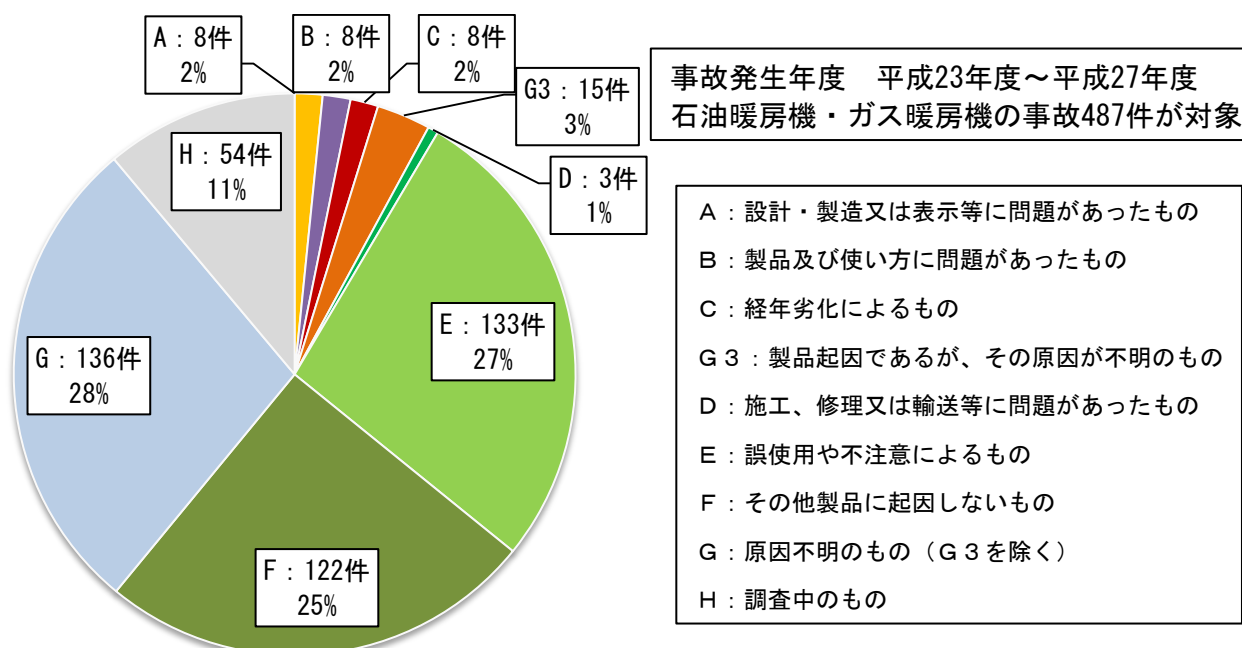


図 5-1 石油暖房機・ガス暖房機の事故原因区分別 事故件数

表 2-1 石油暖房機・ガス暖房機の事故原因区分別 被害状況^{※5}

原因区分		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A: 設計・製造又は表示等に問題があったもの				3 (4) [3]	2 [1]	2 [2]	1	8 (4) [6]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの				3 (4) [3]	3 [3]	2 [2]		8 (4) [8]
	C: 経年劣化によるもの					2 [2]	3 [1]	3	8 (0) [3]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの					6 [6]	7 [5]	2	15 (0) [11]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	0 (0) [0]	6 (8) [6]	13 (0) [12]	14 (0) [10]	6 (0) [0]	39 (8) [28]
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送等に問題があったもの				2 (2)	1 [1]			3 (2) [1]
	E: 誤使用や不注意によるもの		10 (12) [9]	7 (11) [4]	25 (47) [23]	60 [54]	27 [21]	4	133 (70) [111]
	F: その他製品に起因しないもの		26 (31) [25]	7 (8) [6]	24 (41) [19]	59 [59]	6 [6]		122 (80) [115]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	36 (43) [34]	14 (19) [10]	51 (90) [42]	120 (0) [114]	33 (0) [27]	4 (0) [0]	258 (152) [227]
G: 原因不明のもの (G3を除く)		17 (20) [17]	5 (6) [5]	23 (37) [18]	57 [47]	24 [8]	10	136 (63) [95]	
H: 調査中のもの		10 (9) [10]	1 (2) [1]	5 (7) [5]	28 [28]	8 [8]	2 [1]	54 (18) [53]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	63 (72) [61]	20 (27) [16]	85 (142) [71]	218 (0) [201]	79 (0) [53]	22 (0) [1]	487 (241) [403]	

(※5) 平成 28 年 11 月 1 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。
 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

② 電気暖房機の事故

図 5-2 に「電気暖房機の事故原因区分別 事故件数」及び表 2-2 に「電気暖房機の事故原因区分別 被害状況」を示します。

事故原因区分（別紙 1 参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 274 件（56%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 75 件（15%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 103 件（21%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 36 件（7%）

となっています。

電気暖房機の事故では、「A:設計・製造又は表示等に問題があったもの」が最も多く 220 件（45%）あります。また、「E:誤使用や不注意によるもの」や「F:その他製品に起因しないもの」では、死亡事故が多く発生しています。

誤使用や不注意による主な事故としては

- 可燃物が高温部に接触したり放射熱で過熱されたりしたことで発火した火災が 34 件（6 人死亡）

となっています。就寝時に使用して布団が接触したり、電気ストーブの上で干していた洗濯物が落ちて接触したりして事故に至っているため、注意が必要です

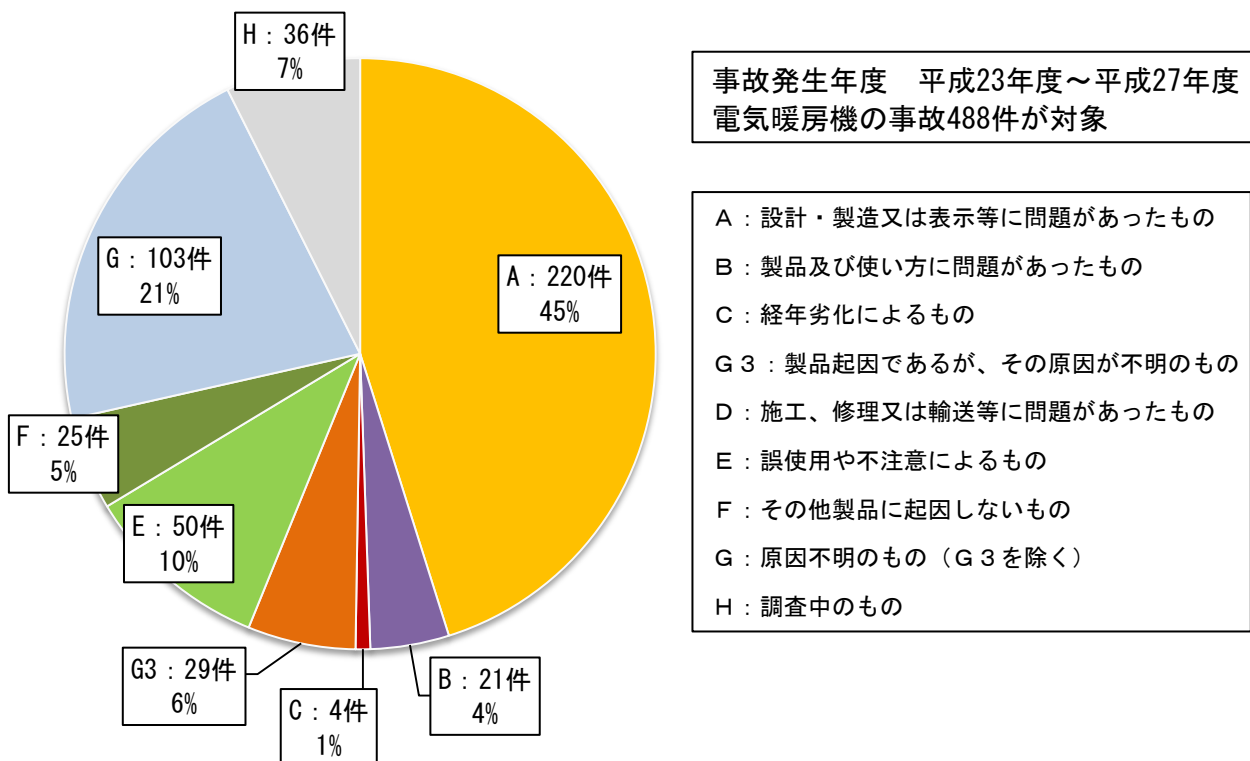


図 5-2 電気暖房機の事故原因区分別 事故件数

表 2-2 電気暖房機の事故原因区別 被害状況^{※5}

原因区分		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A: 設計・製造又は表示等に問題があったもの		2 (2) [2]		8 (12) [4]	46 [25]	164 [30]		220 (14) [61]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの					1 [1]	20		21 (0) [1]
	C: 経年劣化によるもの						4 [2]		4 (0) [2]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの		1 (1) [1]		1 (1) [1]	14 [11]	13 [5]		29 (2) [18]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	3 (3) [3]	0 (0) [0]	9 (13) [5]	61 (0) [37]	201 (0) [37]	0 (0) [0]	274 (16) [82]
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送等に問題があったもの								0 (0) [0]
	E: 誤使用や不注意によるもの		3 (3) [3]		5 (5) [2]	33 [30]	9 [3]		50 (8) [38]
	F: その他製品に起因しないもの		4 (4) [4]	1 (2)	5 (12) [5]	14 [13]	1		25 (18) [22]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	7 (7) [7]	1 (2) [0]	10 (17) [7]	47 (0) [43]	10 (0) [3]	0 (0) [0]	75 (26) [60]
G: 原因不明のもの (G3を除く)		11 (12) [11]	2 (2) [1]	13 (17) [9]	63 [46]	12 [1]	2	103 (31) [68]	
H: 調査中のもの		1 (1) [1]		1 (1) [1]	18 [18]	15 [13]	1	36 (2) [33]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	22 (23) [22]	3 (4) [1]	33 (48) [22]	189 [144]	238 [54]	3 [0]	488 (75) [243]	

(※5) 平成 28 年 11 月 1 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。
 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 事故の事例と気をつけるポイント

① 石油ストーブ・石油温風暖房機の事故

イ) 平成 28 年 2 月 4 日（大分県、70 歳代男性・死亡、60 歳代女性・重傷）

【事故の内容】

使用中の石油ストーブから出火して、住宅 1 棟を全焼し、隣接する建物 8 棟を焼損して、1 人が死亡、1 人が重傷を負った。

【事故の原因】

被害者がカートリッジタンクへの給油後、タンクのふたを斜めに閉めたことで、ふたが確実にしまっていないため石油ストーブへ戻す際に灯油がこぼれ、拭き取りが不十分な状態で点火したためこぼれた灯油にストーブの火が引火し、燃え広がったと考えられる。

ロ) 平成 28 年 3 月 9 日（北海道、60 歳代男性・死亡、60 歳代女性・重傷）

【事故の内容】

石油ファンヒーター付近から出火して、住宅を全焼し、1 人が死亡、1 人が重傷を負った。

【事故の原因】

カートリッジタンクに灯油と間違えてガソリンを誤給油して運転したため、使用時の燃焼熱によりタンクの内圧が上昇してガソリンが押し出され、溢れたガソリンに引火したと考えられる。

なお、灯油のポリタンクは車庫に保管されており、近くに除雪機用のガソリン携行缶も保管されていた。

石油ストーブ・石油温風暖房機の気をつけるポイント

○給油する際は必ず消火し、給油後はカートリッジタンクのふたを確実にしめ、灯油がタンクから漏れていないことを確認してから暖房機にセットする。

「カートリッジタンクのふたのしめ方が不十分だったなどで、灯油が漏れて発火した火災」37 件のうち、「消火せずに」（燃焼が継続した状態で）給油作業を行って事故に至ったものが 23 件発生しています。

また、ストーブ等が消火状態でも、再点火した際に、こぼれた灯油に引火した事故が 6 件、消火直後の高温状態の燃焼部に灯油がこぼれて発火した事故が 8 件発生しています。

平成 21 年 4 月に給油時自動消火装置の搭載が義務化（9 か月の猶予期間あり）され、それ以降に生産された製品は消火し忘れてもカートリッジタンクを外すと自動で消火するようになりました。しかし、給油時自動消火装置の作動直後は燃焼筒の温度が高温になっており、灯油がかかると発火する危険がありますので、カートリッジタンクへ給油後は必ず、ふたがしまっていること、周囲に灯油が漏れていないことを確認してください。

灯油がストーブにこぼれた場合は、灯油が機器内部に浸入しているおそれがありますので、再点火を行わずに使用を中止して販売店や製造事業者に相談してください。



(写真) カートリッジタンクのふたが外れて灯油が高温部にかかり発火

○ガソリンや混合油^{※4}を誤給油しない。

ガソリンは灯油に比べて爆発的に燃焼するため、絶対にガソリンや混合油を給油しないでください。少量の混入であっても火災が生じるおそれがあります。

灯油とガソリンや混合油を同形の容器や同じ場所に保管していたため、誤ってカートリッジタンクにガソリンを給油し事故に至っています。ガソリンや混合油は消防法に適合した金属製のガソリン携行缶に保管してください。

(※4)「油」という言葉がつくが、成分はほぼガソリンである。草刈機やチェーンソー、農業用器具などの燃料として使われ、エンジンが焼き付かないようガソリンと潤滑用オイルを 25 : 1 や 50 : 1 の比率で混合している。また、混合ガソリンとも呼ばれている。



(写真) ガソリンを給油して爆発的に燃え上がる様子 (イメージ)

○昨シーズンから持ち越した灯油や、直射日光のあたる場所、高温になる場所で保管された灯油を使用しない。

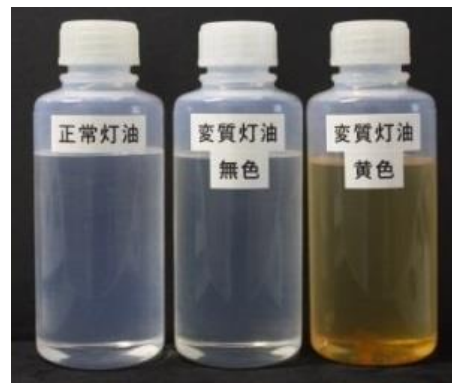
灯油は、酸素、紫外線、温度及び時間の影響で変質します。昨シーズンから持ち越した灯油は使用しないでください。また、灯油は冷暗所に色つきポリタンクで保管し、誤って直射日光のあたる場所、高温になる場所で保管された灯油は使用しないでください。

変質した灯油を使用すると、石油ストーブの芯にタールが溜まり、消火時に芯が下がらず火が消えない、異常燃焼や不完全燃焼といった現象が発生するおそれがあります。従来は、灯油の変質の程度は、色やにおいによって判別可能とされていましたが、最近の研究では、外観に変化がみられない場合であっても劣化している場合があることが分かったため、注意が必要です。

灯油を廃棄する際は、ご購入のガソリンスタンドや灯油販売店等に相談してください。



(写真) 芯が下がらず、消火不良となった芯式石油ストーブ



(写真) 左から新品の灯油、色の変化がない変質した灯油、変色した灯油

② ガスストーブ・ガス温風暖房機の事故

イ) 平成 27 年 3 月 5 日 (大阪府、年齢不明 男性・軽傷)

【事故の内容】

カセットボンベ式ガスストーブを点火したところ、製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1人が軽傷を負った。

【事故の原因】

カセットボンベ交換時にボンベが正しく装着されず、接続口からガスが漏れたことにより、ガスストーブの周囲にガスが滞留し、点火とともに炎が上がり、近くにあった服に引火したと考えられる。

ロ) 平成 26 年 11 月 18 日 (大阪府、年齢性別不明・軽傷)

【事故の内容】

ガスファンヒーターを使用中、爆発して周辺を破損し、1人が軽傷を負った。

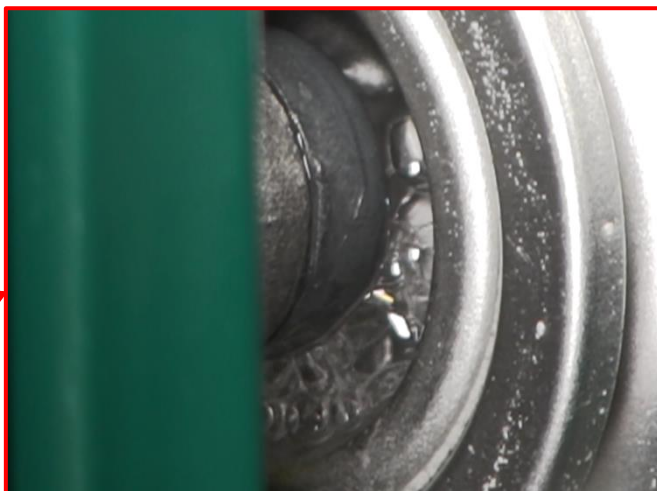
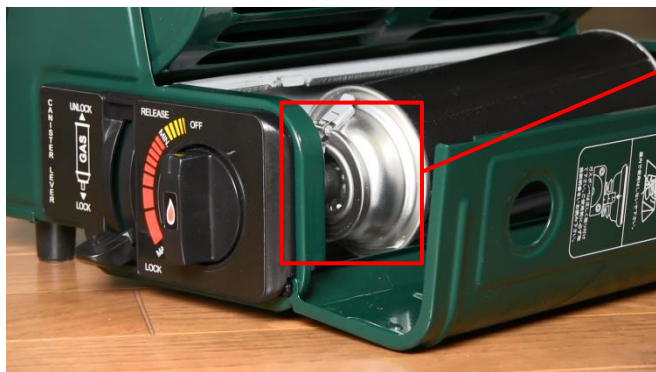
【事故の原因】

ガスファンヒーターのガス接続口に取扱説明書で禁止されているガス用ゴム管を接続して使用したため、接続部からガスが漏れ、漏れたガスにガスファンヒーターの火が引火したと考えられる。

ガスストーブ・ガス温風暖房機の気をつけるポイント

○ガス臭がしたり、ガス漏れの音が聞こえたりした場合は使用を中止して、ガス供給元（カセットボンベやガス栓）とガス暖房機が正しく接続されているか確認する。

カセットボンベ式ガスストーブにボンベを装着した際に、ガス臭がした場合やガス漏れの音（シューという音）が聞こえた場合は使用を中止して、ボンベの切り込み部がストーブのボンベ受けガイドにきちんとはまっているか確認し、しばらく時間をおいてから使用してください。

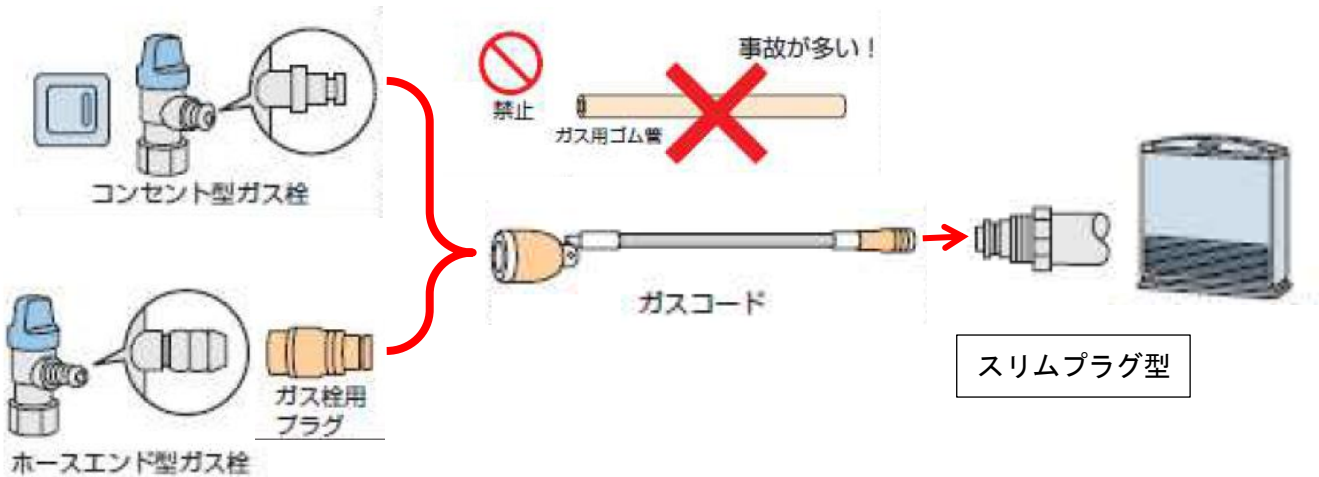


(写真) カセットボンベ式ガスストーブとボンベの隙間からガスが漏れている様子 (イメージ)

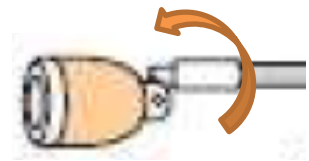
また、ガス栓やガス暖房機とガス接続具の隙間からガスが漏れて引火した火災も発生しています。ガス暖房機を使用するときは、適切なガス接続具で正しく接続されていることを確認してからガス栓を開いてください。

(参考) ガス栓とガス暖房機の接続について^{※6}

- ガス接続具は、「ガス用ゴム管」ではなく、必ず「ガスコード」を使用してください。ガス用ゴム管は「ホースエンド型」の接続口にしか接続できず、ガス暖房機の接続口は「スリムプラグ型」になっており、ガス用ゴム管は接続できません。誤ってガス用ゴム管を使用して、接続部からガスが漏れ事故に至っていますので、注意が必要です。



- ガス栓の周囲に障害物があるときは、接続部やガスコードに無理な力がかからないよう、右図のようなソケット部が自在型のガスコードを使用してください。ガスコードに無理な力がかかると、破損してガス漏れの原因になります。



(図) 自在型ソケット

- ガスコードは適切な長さのものを使用してください。長すぎると機器の高温部に接触したり、配線時に無理な力がかかったりして破損し、ガス漏れの原因になります。

(※6) 一般社団法人日本ガス石油機器工業会ホームページより抜粋

<http://www.jgka.or.jp/consumer/gasu-riyou/anzaen-gasu/gassen/index.html>

③ 電気ストーブの事故

平成 27 年 12 月 13 日（福岡県、年齢性別不明・拡大被害）

【事故の内容】

使用者が外出時に、使用中の電気ストーブ（カーボンヒーター）付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

カーボンヒーターの上部に干していた衣類が上昇気流により煽られ落下してヒーター一部に被さったため、衣類がヒーター部に接触して着火し、焼損したと考えられる。

電気ストーブ・電気温風暖房機の気をつけるポイント

○ストーブで衣類を乾かしたり、周囲に可燃物を置いたりしない。

電気ストーブや石油ストーブの上で衣類を乾燥させると、乾燥によって軽くなった衣類が上昇気流で煽られることで落下し高温部に接触して、火災の危険があります。またストーブ前方に干しても、放射熱によって過熱されたり、空気の対流によって衣類が高温部に接触したりすることがあります。冬場に、室内の加湿目的と合わせて衣類を乾燥させる方もいるようですが、危険です。

電気ストーブ等の周囲に布団や衣類などを置いたり、カーテンの近くに電気ストーブ等を置くと、放射熱による過熱や高温部への接触によって、火災が発生するおそれがあります。



（写真）電気ストーブに衣類が接触して発火する様子（イメージ）



たとえ離して置いたとしても…



空気の対流によって衣類が動き接触するおそれがあります



○外出時には電源を切る。

○就寝時には使用しない。

つけたまま就寝することは危険です。寝具が高温部に触れる等によって着火するおそれがある上、発見が遅れ、大きな火災となるおそれもあります。



（写真）電気ストーブに布団が接触して過熱される様子

○電源プラグを差し込んだまま、電気ストーブを移動しない。

電気ストーブでは、電源プラグと電源コードの付け根（コードブッシング部分）でコードが断線し、スパークが発生し火災に至っています。電源プラグをコンセントに差し込んだまま電気ストーブを移動したり、電気ストーブ保管時に電源コードを本体にきつく巻き付けたりしないでください。電源コードに無理なストレスが加わり、断線するおそれがあります。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当者 穴井、田代

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617

事故原因区分について

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

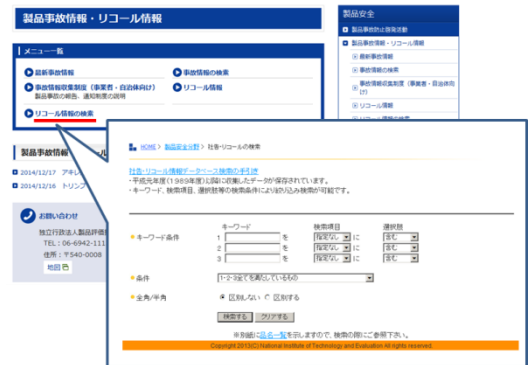
表 事故原因区分一覧

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

リコール情報について

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

なお、NITE に通知された、ストーブなどのリコール情報については、次ページ以降に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。



また、ガス・石油機器については、(一社)日本ガス石油機器工業会ホームページで検索を行うことができます。(<http://www.jgka.or.jp/recall/index.html>)

検索サイトを利用する場合は、「JGKA リコール」等の単語で検索してください。

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2016/05/20	電気温風機	株式会社電響社	<p>[製品名及び型式] 人感センサー付スリムセラミックヒーター 型番：DTC-A1215-WH、DKTC-A1215-WH DKTC-A1215-BR [問い合わせ先等] ◆株式会社電響社 セラミックヒーター 交換窓口 専用フリーダイヤル（無料）：0120-257-217 （携帯電話・PHSからも利用できます。） ◆受付時間：9:00～18:00（土・日・祝日、夏季休暇及び年末年始を除く） [URL] http://www.denkyosha.co.jp/notices/info160520.html</p>
2016/04/14	カーボンヒーター	相山紡織株式会社	<p>[製品名及び型式] ピアンテカーボンヒーター 型番：PCH-S6001（W）ホワイト、PCH-S6001（WR）ワインレッド [問い合わせ先等] 相山紡織株式会社 カーボンヒーターご相談専用窓口 ◆フリーダイヤル：0120-51-7876（携帯電話・PHSからも利用可） ◆受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土・日・祝、夏季休暇及び年末年始を除く） [URL] http://www.sugibou.com/support/post.html</p>
2016/03/19	電気ストーブ（カーボンヒーター）	ユアサプライムス株式会社	<p>[製品名及び型式] 商品名：カーボンヒーター 型番：（1）リモコンタイプ/YA-C945SR（WH） （2）リモコンタイプ/KYA-C915R（WH） （3）メカタイプ/YA-C900S（WH） [問い合わせ先等] ユアサプライムス 修理回収窓口 フリーダイヤル：0120-801-798（携帯電話・PHSからも利用可） 受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日を除く） [URL] http://www.yuasa-p.co.jp/company/pdf/20160319.pdf</p>
2016/01/20	セラミックファンヒーター	小泉成器株式会社	<p>[製品名及び型式] コイズミセラミックヒーター KCH-1233 [問い合わせ先等] 小泉成器セラミックヒーター専用窓口 ◆専用フリーダイヤル：0120-300-731 ※携帯電話・PHSからも利用できますが、050などのIP電話からは接続できません。 ◆受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く） [URL] http://www.koizumiseiki.co.jp/</p>
2015/07/10	石油ストーブ	株式会社コロナ	<p>[製品名及び型式] 商品名：コロナ温水ボイラー内蔵輻射型密閉式石油ストーブ（ツインヒーター） 1) 品番形式：UHB-TP1010(W) 2) 品番形式：UHB-TP1010(H) 3) 品番形式：UHB-TPM1010(W) 4) 品番形式：UHB-TP1020(W) 5) 品番形式：UHB-TP1020(H) 6) 品番形式：UHB-TPM1020(W) [URL] https://www.corona.co.jp/report/tenken_20150710.pdf</p>
2015/04/20	ベースボードヒーター	株式会社インターセントラル	<p>[製品名及び型式] 商品名：自然対流方式ベースボード型電気暖房器「ベースボードヒーター」 型番：EHC-3500 製造番号：M0304343****~M1309343**** 型番：EHC-4000 製造番号：M0304341****~M1309341**** 対象製造番号：上4桁 0304～1309（製造年月）、下3桁 341、343（型番識別番号） [URL] http://www.i-central.co.jp/common/pdf/150420-1.pdf</p>
2014/11/11	石油ファンヒーター	(輸入元)株式会社千石(販売元) 日本エー・アイ・シー株式会社	<p>[製品名及び型式] ブランド：アラジン 製品名：AKF-P359N（2014年秋の新商品） 型番：No. 55. 001001～55. 028483 [問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-151-059 ・受付時間：09:00～17:00（土曜・日曜・祝日、夏季休暇・年末年始を除く）</p>
2014/03/17	ファンヒーター	ダイソン株式会社	<p>[製品名及び型式] ダイソン Hot+Cool（ホットアンドクール）AM04 ダイソン Hot+Cool（ホットアンドクール）AM05 [URL] http://www.dyson.co.jp/Support/CustomerNotice.aspx#DysonHotCoolAM04AM05 リコール専用サイト：https://www.dysonrecall.com/ja-JP/Info</p>
2014/02/20	電気ストーブ	株式会社ダイエー	<p>[製品名及び型式] 1. 商品名：「コルティナ 電気ストーブ DES-902」 2. 販売店舗：ダイエー、グルメシティ、マルエツ、今治デパート、高知スーパーマーケット （株）東武、ベルシャイン、ヤササキパリオなど合計 384店舗 [URL] http://www.daiei.co.jp/corporate/index.php/release/lists/detail/997</p>
2013/12/10	電気ストーブ	株式会社ピーナッツ・クラブ（販売） 株式会社ヨシナ（輸入）	<p>[製品名及び型式] Smart-Style パワフルヒーター 型番：NSB-C56 [URL] http://www.peanuts-club.co.jp/content/item-info.html#pfh</p>
2013/04/08	石油ストーブ	有限会社グローバルトラスト（輸入） コーナン商事株式会社（販売）	<p>[製品名及び型式] ブランド名：アルパカ 型番：TSG-1（S） 2010年製 [URL] http://www.hc-kohnan.com/pdf/kinkoku_sekiyustove_2013.04.8.pdf</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2013/03/15	石油ストーブ	平城商事株式会社	[製品名及び型式] アルパカストーブ 型式：TS-77SN [URL] http://www.hirakishoji.co.jp/company/news250228.html
2013/01/15	デスクヒーター	クレオ工業株式会社	[製品名及び型式] 機種名：ヒタッとヒーター 型番：NN8920 機種名：暖ったかSUNヒーター 型番：NN8920B ※下記機種は対象外です。 機種名：3Hタイマー付きテーブルヒーター/型番：NH2470 機種名：暖ったかSUNヒーターDX/型番：NH2470B [URL] http://www.kreo.co.jp/nn8920_recall.html
2012/10/09	石油ファンヒーター	(販売元)日本エー・アイ・シー株式会社 (製造元)株式会社 千石	[製品名及び型式] アラジン 石油ファンヒーター 品番：AKF-P321N(W) [URL] http://www.aladdin-aic.com
2012/01/10	ハロゲンヒーター	株式会社 ドウシシャ	[製品名及び型式] PIERIA ハロゲンヒーター [URL] http://www.doshisha.co.jp/pdf/2012product/2012-01-10/120110.pdf
2011/1/28 再社告 2011/02/04 2011/08/01 2012/10/09	石油ファンヒーター	(販売元)日本エー・アイ・シー株式会社 (製造元)株式会社 千石	[製品名及び型式] アラジン 石油ファンヒーター 品番：AKF-P321N(W) [URL] http://www.aladdin-aic.com
2011/09/27	ワンタッチ式給油タンク (よごれま栓タンク)	株式会社 コロナ	[製品名及び型式] ○対象石油ストーブ(反射型) 1987年：SX-1800DX、SX-2200DX 1988年：SX-1800、SX-2200、SX-1800DXA、SX-2200DXA 1989年：SX-1810、SX-2210、SX-3000 1990年：SX-1820、SX-2220、SX-3020 1991年：SX-1840、SX-2240、SX-3040 1992年：SX-1850、SX-2250、SX-2250X、SX-3050 1993年：SX-1860、SX-2260、SX-3060 1994年：SX-1870、SX-2270、SX-3060 1995年：SX-1880Y、SX-2280Y、SX-3080Y 1996年：SX-1800Y、SX-2200Y、SX-3080Y、NX-22Y RX-D18Y 1997年：SX-B21Y、SX-B26Y、SX-B35Y、SX-B27WY、NX-26Y、RX-B21Y、RX-B26Y 1998年：SX-C210Y、SX-C260Y、NX-26Y 1999年：SX-D27WY 2000年：SX-E210Y、SX-E260Y、SX-E21Y、SX-E26Y、SX-B35YA、SX-D27WYA、NX-26YA、KM-D27WY ○対象石油ファンヒーター 1993年：FH-3360AYL 1994年：FH-2570Y、FH-3270Y、FH-3370AYL、GT-2570Y、GT-3270Y、FK-F250、FK-F320、KH-A25Y、KH-A32Y、KH-3207Y 1995年：FH-2580Y、FH-3280Y、FH-5580Y、FH-2580AY、FH-3380AY、NH-2580Y、NH-3280Y、GT-2580Y、GT-3280Y、KH-B25Y、KH-B32Y、FK-G250、FK-G320、AH-3280Y 1996年：FH-A30Y、FH-A37Y、FH-A47Y、FH-A60Y、FH-A30AY、FH-A37AY、NH-A30Y、NH-A37Y、GT-A30Y、GT-A37Y、GT-A30YJ、KH-A30WS、KH-A37WS、KH-C30Y、KH-C37Y、FK-H30、FK-H37 1997年：FH-B30AY、FH-B37AY、FH-B30BY、FH-B40BY、FH-B50BY、FH-B62Y、NH-B30BY、NH-B40BY、GT-B30BY、GT-B40BY、KH-B30WS、KH-B40WS、KH-D30BY、KH-D40BY、FK-J30、FK-J40 1998年：FH-C320BY、FH-C430BY、FH-C530BY、GT-C30Y、GT-C32BY、GT-C53BY、FK-K32、FK-K53、KGF-A300 1999年：FH-D320BY、FH-D430BY、FH-D530BY、FH-MD30Y、GT-D30Y、GT-D32BY、GT-D43BY、GT-D53BY、GT-E630Y、GT-KS30Y、FK-L30、FK-L32、FK-L43、FK-L53 2000年：FH-E62Y、FH-EX32BY、FH-EX43BY、FH-EX53BY、FH-ES32BY、GT-E30Y、KM-30Y、KS-E30Y、FK-M30、FK-M32、FK-M43、FK-M53、FJ-V30Y [URL] http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html
2011/09/01	ハロゲンヒーター	コーナン商事株式会社	[製品名及び型式] LIFELEX ハロゲンヒーター KOK22-9726GR (グリーン)、KOK22-9719Y (イエロー) [URL] http://www.hc-kohnan.com/pdf/110901%20KOK22-9726%209719recall.pdf
2011/06/27	遠赤外線電気暖房器	株式会社インターセントラル	[製品名及び型式] 遠赤外線電気暖房器 グラスヒート・ヘリオス 機種名：JH-1000 [問い合わせ先等] インターセントラル グラスヒート ヘリオス コールセンター 0120-82-6218
2011/05/27	遠赤外線ヒーター	株式会社デンソー	[製品名及び型式] 遠赤外線ヒーター 「ENSEKI (エンセキ)」 (1) 機種：DZR-08FR 型番：479000-2610、479000-2620 機種：DZR-10FR 型番：479000-2630、479000-2640 (2) 機種：ND-08FR 型番：479000-2520、479000-2550 機種：ND-10FR 型番：479000-2530、479000-2560 [URL] http://www.denso.co.jp/ja/news/notice/110526-01.html
2011/04/19	セラミック温風ヒーター	株式会社ユーイング (旧森田電気株式会社)	[製品名及び型式] MDS-1200CT ホワイト (WH)、グレー (GY) 製造番号 M100001~M131000 [URL] http://www.uing.u-tc.co.jp/announce/doc/a06000001.html
2011/02/15	電気ストーブ (カーボンヒーター)	燦坤 (サンクン) 日本電器株式会社	[製品名及び型式] 電気ストーブ (カーボンヒーター) ブランド名：EUPA (ユーパ) 機種名：UHC-3T: (色：ベージュ)、UHC-9T: (色：ブルー)、TSK-5328CT (2007年製) [URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2011/02/04	石油ファンヒーター	(販売元)日本エー・アイ・シー株式会社 (製造元)株式会社 千石	[製品名及び型式] アラジン 石油ファンヒーター 品番: AKF-P321N(W) [問い合わせ先等] アラジン石油ファンヒーターお客様相談室 ・フリーダイヤル: 0120-15-1059 ・受付時間: 09:00~19:00 (土、日、祝日を除く) [URL] http://www.aladdin-aic.com
2010/09/01	ハロゲンヒーター	株式会社シー・シー・ピー	[製品名及び型式] CCP's ハロゲンヒーター 型番: GN-30、GN-30N、GN-33、GN-33N、GN-33WH Neove ハロゲンヒーター 型番: KH-800S、KH-800SI [URL] http://www.ccp-jp.com/life/News/Joshirase_201009_2.pdf
2010/04/19	ハロゲンヒーター	株式会社グラソ	[製品名及び型式] アクテックハロゲンヒーター(中国製) 型式: NSH-800 (平成14年9月生産)、NSH-850 (平成15年9月生産) [問い合わせ先等] 04-7193-3591 [URL] http://www.post-seiwa.co.jp/index.html
2010/03/30 再社告 2010/06/09 2010/09/01	石油ストーブ	株式会社 千石(輸入元) 株式会社 グリーンウッド(販売元) 日本エー・アイ・シー株式会社 (販売元)	[製品名及び型式] 株式会社 グリーンウッド ・グリーンウッド: GKP-S241N、GKP-M2401N、GKP-W301N 日本エー・アイ・シー株式会社 ・アラジン: AKP-U28A、AKP-S280、AKP-S300 [URL] 株式会社 千石 http://www.sengoku.jp.co.jp/ 株式会社 グリーンウッド http://www.gwgw.co.jp/ 日本エー・アイ・シー株式会社 http://www.aladdin-aic.com/mt_download_data/ADHP0831.pdf
2008/04/21 再社告 2012/2/24 2013/03/11	電気ストーブ	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	[製品名及び型式] TSK-5303(Q、Y、L、)シリーズ(2003年製~2007年製)、SHQ-8(2007年製)、SHH-8(2007年製)、SHU-8(2007年製)、FS-800W(2005年製~2007年製) [URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html
2008/04/21 再社告 2012/02/24 2013/03/11	カーボンヒーター/ハロゲンヒーター	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	[製品名及び型式] ・カーボンヒーター TSK-5328GT(2005年、2006年製)、TSK-5328CRI(2005年、2006年製)、UHC-9T(2007年製)、UHC-3T(2008年、2009年製) ・ハロゲンヒーター FS-900T(2006年、2007年製) [URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html
2007/09/01	ガスファンヒーター	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	[製品名及び型式等] ガスファンヒーター(PG-22F、PG-33F) [問い合わせ先等] フリーダイヤル: 0120-314-552 受付時間: 9:00~18:00(土、日、祝日ともに) [URL] http://www.paloma.co.jp/important/info_repair/2007/200708.html
2007/01/29 再社告 2010/10/25 2012/04/20	石油ファンヒーター	三洋電機株式会社	[製品名及び型式] CFH-S221F [問い合わせ先等] ・フリーダイヤル: 0120-12-1381 ・受付時間: 09:00~17:00(土・日・祝日・弊社の休日を除く)